

反転が生み出す論文執筆のブレークスルー
ー ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション ー

オーガナイザ：瀬田 和久（大阪府立大学），村上 正行（大阪大学），
松田 憲幸（和歌山大学），後藤田 中（香川大学），田中 孝治（金沢工業大学），
近藤 伸彦（東京都立大学），山元 翔（近畿大学）

JSiSE 学会誌編集委員会では 2015 年まで、全国大会プレカンファレンス企画として、チュートリアル“編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門”を実施してきました。

「チュートリアルコンテンツ」（解説資料やビデオ）

<http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>

- ・ 論文投稿から掲載までの流れ，投稿に際しての注意
- ・ 論文種別と採録基準 ー現状と改訂の方向性ー
- ・ 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- ・ 教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

今回セッション前半では、新しい編集活動の概要を Zoom 等のツールを用いて、オンライン開催の形式でご紹介します。編集委員会では、2019 年に新たに複数の WG を立ち上げました。例えば、2020 年からは、査読判定とりまとめの審査プロセスにおける評定票を改訂し、一般系、実践系それぞれの趣旨を念頭に論文の良い点を積極的に評価できるようチェックリストを導入しました。従来のメール審議に加え、グループウェアを導入し、審議の濃密化・迅速化を図ることとなりました。さらに、採録された論文の特徴を、ハイライトとして分かり易く紹介していただくページを設けました。

また、セッション後半において、「反転+ディスカッションベース」の論文投稿の相談会を行います。これは 4 年前（2016 年）から、上記コンテンツを事前に視聴いただいた上で、対面でのご相談・議論に臨む相談会を実施しており、ご好評をいただき、本年度もオンライン開催で続きます。

本学会には、「一般論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」の 4 つの研究論文カテゴリがあります。例えば、論文投稿をしたいが 4 つの論文カテゴリの区別が判然としない方や、実践論文として満たさなければならない基準を知りたい方、研究を進める上でのポイントやヒントが欲しい方、査読における考え方を整理したい方など、投稿に関するあらゆる不安・お悩みについて、編集委員・参加者の知恵を合わせ、オンライン対話を通じて一緒に考えたいと思います。

一般・特集号に関わらず、今後投稿を予定しておられ、論文執筆について編集委員（Adviser）から直接アドバイスを受けたい方（Advisee）には、次の二つを事前にお願ひしております。

1. 事前にチュートリアルコンテンツを閲覧
2. プレカンファレンス、当日、投稿予定の研究内容や執筆上のお悩みをプレゼン
（特に 1. の閲覧に基づき、評価して欲しい「新規性」、「有用性」をプレゼンで提示下さい）

編集委員・参加者との対話・議論を通して、論文執筆へとつながるブレークスルーを見出していきたいと思ひます。Advisee の方は、事前に参加申し込みをお願いしませう（募集の詳細は学会員メーリングリスト jnews などでお知らせしませう。なお希望者多数の場合は選定させていただくことがございませう）。学生や若手研究者をはじめ、オンライン講義に関わる教育システムの実践・運用事例の投稿を検討されている方もご参加下さい。また Advisee でない方のご参加も歓迎いたしませう。Advisee のプレゼンや編集委員との議論を聴講していただくだけでも、歓迎いたしませう。